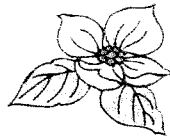


学校だより

09 インディアナ日本語学校
NO4(4月) 全校生 325人



ハナミズキ

お知らせ

6月漢字検定は中止します

先日来、日本の漢字能力検定協会の不明朗な運営に関わる報道がされています。協会からも検定料の引き下げの検討もする旨の発言がありました。しかし、先週16日に本校に届いた検定料は、各級とも3~6\$の値上げになっていました。

その日、文部科学省が、6月の検定試験の延期や中止を視野に入れた検討に入った報道がされ、17日には、協会から検定料を引き下げるよう検討している旨のファックスが届きました。

この件に関して、18日の運営員委員会で、協議した結果、次の理由により今回の6月の検定試験は、中止することにしました。

- ①試験検定料が定かでなく、集金や運営面で問題があること。
- ②協会の改善案が不十分な場合は、6月の試験を中止となる場合もあること。

せっかくのチャレンジを希望している児童生徒に、申し訳ないとは思いますが、状況がはっきりするまで待つて、秋の試験にチャレンジしたいと思いません。保護者の皆様には、急な計画変更になりますが、ご理解のほど宜しくお願い致します。



自分のことについて

5年 こいずみりん たろう 小泉 琳太郎

ぼくの名前は、小泉琳太郎です。1998年10月3日生まれです。アメリカに引っ越して3年半になります。ぼくの好きな科目は、図工です。好きな色は、黒で、食べ物は、カレーライスです。趣味は、料理とサッカーで、特技は、折り紙と漢字をきれいに書くことです。

ぼくは、生まれつきぜんそくを持っていて、息がしょっちゅう切れてしまいます。もっと体力をつけるために、テコンドーという武道をやっています。黒帯がぼくのゴールです。今年の目標は、赤帯です。テコンドーは、体力づくりだけでなく、礼ぎ、ぼうぎょ力、こうげき力、かたを大切にしますが、特に、礼ぎには、すごく力を入れています。スポーツは、心が伴わないと勝てないからです。道場に入るときは、礼をし、使わせてもらいますという気持ちを表します。

ぼくは、その他に韓国語も習っています。韓国語を覚えることが、ぼくにとって一番むずかしいことです。なぜなら、ぼくにとっては、日本語がメインで、その中に英語を入れ、さらに韓国語を入れるからです。

テコンドーで、ぼくが一番好きなのは、かたです。特に、自分より上のランクの子がやるかたを見ていると、かっこ良く、早くそのランクまで、たどり着きたいなと思います。

現地校では、今、放課後、20人ほど集まってクラブ活動のように、ハビタットクラブという活動をやっています。このクラブは、他の生徒よりも、もっと自然のことを大切にします。学校の裏庭に大きな動物の生息地があります。このクラブの目的は、動物たちが満足できるようなもっと豊かな生息地にすることです。今やっていることは、木を植え、林を作ろうとしています。2~30年後には、大きな林になって、いろいろな鳥が見られるといいなあとと思っています。このクラブで学んだことは、動物の種類、自然についてのほうりつ、鳥やほにゅう類や節足動物のちがい、それとリサイクルについてのことです。今後、虫をむやみにつかまえることは、あまりおこってほしくはありません。そして、リサイクルをたくさんして、地球のゴミをへらしたいと思います。たとえば、紙をリサイクルすれば、木を切らずにすみます。そして、木がたくさんあればあるほど、たくさんの二さん化たんそを食べてくれます。そしてさらに、地球温暖化もふせげます。

将来、ぼくのやりたい仕事は、世界一のマジシャンになることです。理由は、マジックや不思議な現象が大好きだからです。後、人を驚かすのも大好きだからです。世界中を回って、いろいろな国の人をびっくりさせて、たくさんの拍手をもらいたいのです。そのためには、たくさん練習しなければなりません。自分でオリジナルの手品も考えだし、その手品のタネをしっかり覚え、シュミレーションしなければなりません。人前に出て、ショーをするときは、元気で、笑顔で登場します。タネがばれてしまわないようにするには、すばやく行動し、集中することが大事です。

マジシャンは、世界中を回らなければならないので、ぼくの将来は、いそがしくなりそうです。